第3回地域包括ケアセミナー
2019/2/21

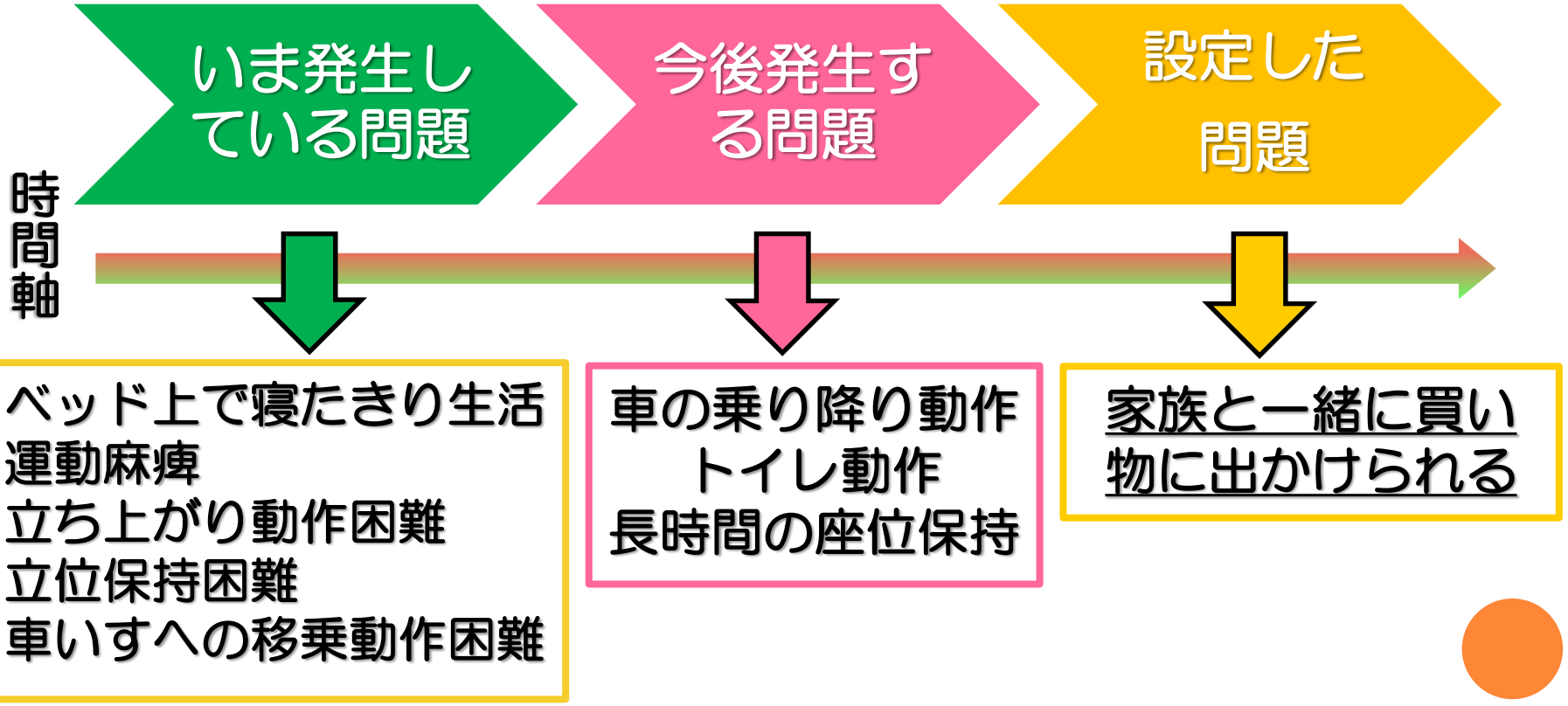
歩行・移動に課題を有する生活障がい者に対する評価および介入の方法について

介護老人保健施設　一心館
理学療法士　菊地　裕美

～問題点の抽出と整理～

時間軸に合わせた問題点の抽出

目標「家族と買い物に行けるようになりたい」



＊思い込み＊

⇒身体が治らないと何にもできない

- 治っている途中段階でも“出来ることを増やしていく事が大事！！
- 機能面のアプローチと並行して現在の能力でも出来る生活動作の練習をする
- レベルが変わってくれば、環境や方法を変えて介助量を減らしていく！！

利用者が有する能力、置かれている環境等の評価解決すべき課題を把握し整理する！！

「解決すべき課題」の整理

ご家族と買い物に行けない

個人因子

- 車いすに移るのが大変
- 車いすに長時間座っていられない
- 車いす駆動が自力で出来ない
- 右足首が曲がらず立てない

など

環境因子

- 玄関の上がり框が高い
- 外階段が降りられない
- 車に乗れない

など

～行為における負の学習～

機能

関節可動域制限　筋力低下　運動麻痺

↓

能力

座位保持や立位保持の不安定

↓

関連事象

転倒　痛みの増強　疲労症状の悪化
行為の失敗

↓

心理

自信の喪失　自己効力感の低下
意欲の低下

↓

行為ができない ⇒ やらない

負の学習

～外出・参加への具体的なアプローチ～

- 提案： 利用者の価値観や楽しみを会話の中でくみ取り、外出や参加内容を提案する

自分の強みに気づいてもらう

興味があることを把握！
ストレングスを生かしての方法を提案

- 体験： 提案した活動を失敗しないように体験させ、その後のモチベーションに繋げる。

成功体験！！
大変だけどできる！　これならできる！

～外出・参加への具体的なアプローチ～

- **選択**：活動を**継続的に取り組める**ように本格的な準備を行う

称賛・共感！
僅かな変化に気づき、すぐに声をかける

- **技術向上**： より**行いやすく**するための支援する

自分の身体の使い方を一緒に考える

反復練習！！
能力の改善に合わせて、方法（道具・人・環境）の変更

- **参加**： **地域への活動・人との関わり**につなげる

＊症例紹介＊

～外出から活動範囲の拡大へ～

- B様（65歳、女性、脳梗塞、右片麻痺、左上肢拘縮有）
- 回復期病院退院後、閉じこもり
- 寝たきりの生活状況　（要介護度５）
- ADL動作ほぼ全介助レベル
- 現在、２人がかりで抱きかかえて月1回の受診
- 依頼内容は外出が楽に行えるようにしてほしい。

～外出の為の基礎トレーニング編～
1人介助で楽に外出がしたい！！

環境因子の評価

- 段差18cm～28cmの階段
- 玄関から道路までカーブ
- 車いすの向きを変える踊り場スペースなし
- 家族も使用
- 道路から最高段の高さは93cm

環境整備（住宅改修）　・　福祉用具の選択

健側の左前腕・手首・手指に
可動域制限あり

↓

縦手すりではなく横手すり
やや細めの手すりを選択

３０cmの上がり框

↓

降段せず、外用車いす
の移乗動作で解消

横手すりの高さ

↓

行きと帰りで座面の高さが
異なることを考慮して選択

環境整備（住宅改修）　・　福祉用具の選択

車いすの向きが
変えられない

↓

踊り場を作成
緩やかな坂

高さ９３cm急勾配の危険性

↓

２段目からスロープを使用
道路側も高さを上げ、さらに
スロープ延長し緩やかな勾配へ

～活動編～
バレンタインに手作りお菓子をあげたい！！

- 屋外に出られるようになり、買い物がしたい
- 買いたいもの：バレンタインのお菓子作りに必要な材料
- 現在の手指能力を生かし、どんなお菓子作りをするか

作業手：左手　肘関節の可動域は良好、手指に可動域制限あり

バレンタインに手作りお菓子をあげたい（活動）

- ご本人の希望を細かく情報収集
- 購入予定の材料や道具を選定するため、事前にお店を下見
- 手作りお菓子プランを提案
- 買い物動作の準備（お会計を自立へ）

バレンタインに手作りお菓子をあげたい（活動）

- 材料 ・ 道具を購入
- クッキーにカラーチョコペンで模様を描く
- 星形砂糖菓子を模様の上に置いて貼りつけていく

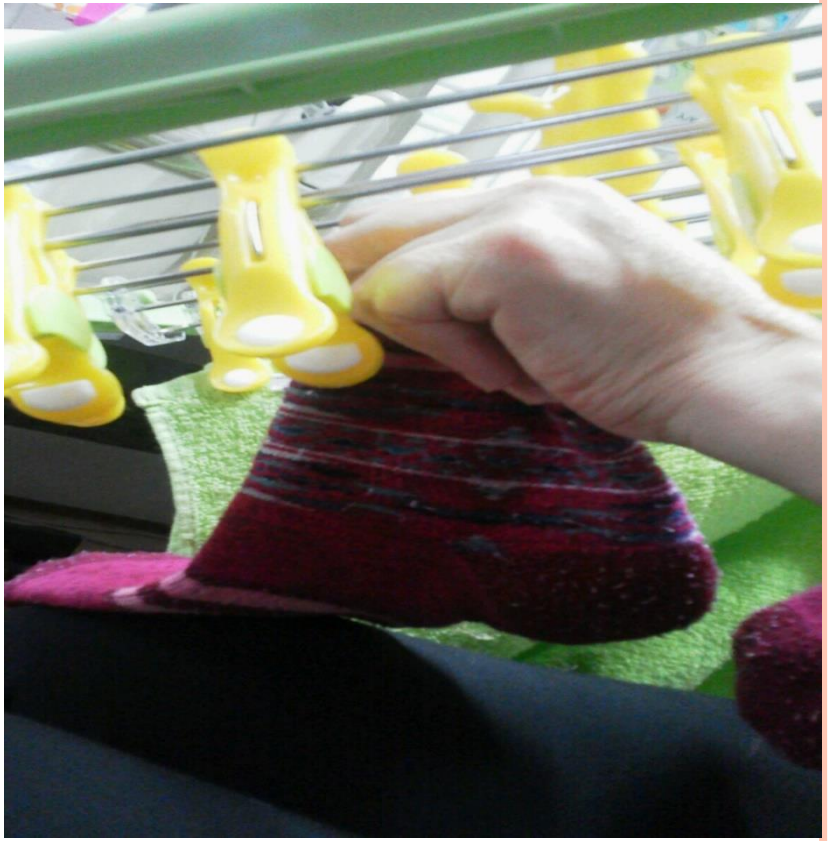
～参加編　主体的な役割～
洗濯物を干せるようになりたい

- 車いす座位で過ごすように生活形態の変化
- 手作りお菓子が成功体験になり、毎日の役割が欲しいと希望 ⇐ 洗濯ものを干しを提案

持っている能力を生かせるように道具の選定

- 座位でも高い所にひっかける事が可能なモノ
- 左手のみで干すこと、取り込みが可能なモノ

洗濯物を干せるようになりたい（参加：主体的な役割）



ベッドを高くして、柄をかけ洗濯物が干しやすい高さにする

母指と人差し指で洗濯バサミをつまむ（閉じるようにして）靴下を挟む

～参加編～

家族で温泉旅行に行きたい！！

- 退院後、訪問入浴を週２回利用
- 最近は出かけられるようになったが日帰りが多い
- 家族の負担をかけ過ぎずに温泉に入りたい
- ご家族とご本人の要望を情報取集
- 要望にそうホテルを探し
- マンパワーの確認 ・ 環境の確認 ・ 必要な道具がそろっているか確認
- 入浴動作の練習（似た環境を整え、模擬練習）

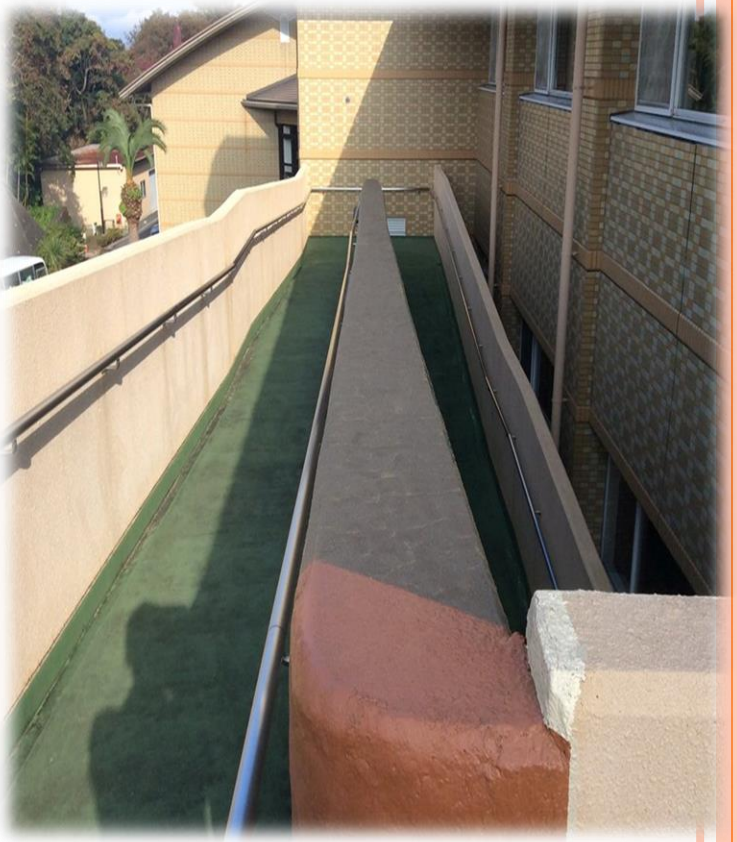
家族温泉旅行の提案例

埼玉県伊豆潮風館

潮風館は、障碍のある方とそのご家族が宿泊休養し、健康増進とレクリエーションの場として活用できるように、埼玉県が開設した障碍者更生センター

障碍のある方のみならず、広く埼玉県民一般の方々が、共に楽しく利用できる障害者向け保養所として、トイレやお風呂の環境が整えられた施設。

埼玉県伊豆潮風館（外観）



- 車いす移動でもガタガタしない、外は舗装されてる
- 緩やかなスロープの設置
- 広々とした芝生

食堂

- 座席と座席の間に余裕のあるスペース
- 通路の確保

トイレ

- 車いすでも対応できる広い空間
- ナースコールの設置
- 両側の手すり設置（片方は可動性）

お風呂場

- シャワーチェアーごと入れる広いスペース
- 移動用リフトや昇降椅子を完備
- 旅館スタッフの手伝いの要請すること可能

お部屋

- 介護用ベッドの完備
- 車いす用のトイレも室内にあり
- 部屋用の浴室も完備

(手すり・シャワーベンチ・浴槽台)